

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

2012年通常総会

日 時 2012年6月17日（日）午後2時～4時

場 所 港勤労福祉会館 第一洋室
東京都港区芝5-18-2

議 題

- (1) 2011年度 事業報告
- (2) 2011年度 収支決算
- (3) 2012年度 事業計画
- (4) 2012年度 収支予算
- (5) 理事、監事の選任

※総会議事終了後

- ・ラムサールCOP11に関する情報・意見交換
- ・各地からの報告

2011年度（2011年4月1日～2012年3月31日）事業報告

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

1 会員数の状況（2012年3月31日現在、カッコ内は前年度）

一般正会員	（1口5千円）	106	（89）
団体正会員	（1口1万円）	16	（14）
特別正会員	（5万円以上）	5	（8）
一般賛助会員	（1口2千円）	71	（66）
団体賛助会員	（1口1万円）	1	（1）
特別賛助会員	（3万円以上）	2	（2）
企業賛助会員	（1口10万円）	1	（1）

2 会議の開催の状況

2011年

- 5月14日 理事会（東京・巣鴨地域文化創造館）
- 6月26日 理事会（沖縄市・農民研修センター 大研修室）
- 6月26日 総会（同上）

3 事業の実施の状況

(1) 調査研究事業

2011年

- 5月16～23日 ミャンマー・モッタマー湾ヘラシギ、シギ・チドリ類調査
- 11月3～12日 同上

2012年

- 1月20日～2月3日 同上
- 2月4～5日 中津干潟シギ・チドリ類、ズグロカモメ調査
- 3月19～23日 東アジア・オーストラリア地域水鳥パートナーシップ第6回パートナー会議
（インドネシア・パレンバン）
- 3月23～24日 同パートナーシップヘラシギ・タスクフォース会議（同地）

(2) 保全再生事業

2011年

- 4月30日 東日本大震災 現地NGOによる緊急報告会
（東京・地球環境パートナーシッププラザ）
- 6月6日 「中城湾港泡瀬地区公有水面埋立免許変更申請」に関する意見書を沖縄県
土木建築部港湾課に提出
- 7月4日 第14回水田決議円卓会議準備会
- 7月21～23日 第6回日韓田んぼの生きもの調査交流会（韓国・忠清南道・ホンソン郡）
- 8月 東日本大震災義援金募金総額53万7000円
（2011年中にNPO法人田んぼ、NPO法人蕪栗ぬまっくらぶ、NPO法人
民間稲作研究所、はぜっ子倶楽部、仙台湾の水鳥を守る会、エコパル化女
沼、H.Hiraizumi's Birding Pageに送金）

- 8月 UNDB市民ネット加盟
 - 8月19日 第15回水田決議円卓会議準備会
 - 8月25～27日 水田保全のための国際シンポジウム（「水田と殺虫剤」決議案のためのワークショップ）（韓国・慶尚北道・サンジュ市）
 - 10月4日 第16回水田決議円卓会議準備会
 - 10月17日 抗議声明「泡瀬干潟・浅海域の埋立工事再開に抗議する」を公表し、内閣府・沖縄担当大臣等に送付
 - 10月18日 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する要望書を環境大臣等に提出
 - 11月10日 泡瀬干潟埋め立て工事を止めよう！緊急院内集会（東京・参議院議員会館）
 - 12月4日 シンポ「工事を止めろ！沖縄・泡瀬干潟とサンゴの海が消えて行く」
～判決無視・公約違反の埋立工事再開に、生き物たちの悲鳴が聞こえる～
（東京・雑司が谷地域文化創造館）
 - 12月5日 第17回水田決議円卓会議準備会
- 2012年
- 1月5日 生物多様性国家戦略2010の改訂に当たってラムサール・ネットワーク日本からの意見を環境省・生物多様性地球戦略企画室に提出
 - 1月18日 第18回水田決議円卓会議準備会
 - 2月13日 第19回水田決議円卓会議準備会
 - 3月 IUCN-J加盟

(3) 普及啓発事業

2011年

- 5月22日を中心とする5～7月 湿地のグリーンウェイブ
- 6月26日 シンポジウム in 沖縄「湿地保全と私たちの社会」
（沖縄市・農民研修センター大研修室）

2012年

- 2月18日 湿地のグリーンウェイブ・プレ「ラムサールCOP11」イベント
世界湿地の日シンポジウム in 渡良瀬遊水地（栃木市栃木文化会館小ホール）

(4) 国際協力事業

2011年

- 4月6日 WWNスカイプ会議
- 5月19日 WWNスカイプ会議
- 6月8日 WWNスカイプ会議
- 7月6日 WWNスカイプ会議
- 8月17日 WWNスカイプ会議
- 9月23、24日 第6回日韓NGO湿地フォーラム（韓国・チャンニョン郡プゴク温泉）
- 9月25～30日 IUCNアジア地域自然保護会議（韓国・インチョン市）
- 9月30日 WWNスカイプ会議
- 10月24日 WWNスカイプ会議
- 12月7日 WWNスカイプ会議

2012年

- 1月17日 WWNスカイプ会議
- 2月2日 世界湿地の日ポスター・パンフ製作（環境省受託事業）
- 2月14日 WWNスカイプ会議
- 2月12～14日 第74回理事会でIUCN加盟承認
- 2月25、26日 第7回日韓NGO湿地フォーラム（福岡市・福岡商工会議所、福岡朝日ビル）
- 3月6日 WWNスカイプ会議

(5) ネットワーク推進事業

2011年

- 6月 ラムネットJニュースレター第6号発行
- 6月24～27日 生物多様性の宝庫・沖縄ツアー
- 11月 ラムネットJニュースレター第7号発行

2012年

- 1月 ラムネットJニュースレター第8号発行
- 2月5～7日 東北・被災地の湿地を訪ねるツアー

4 助成金・受託事業の状況

(1) 2010年度プロ・ナトゥーラ・ファンド助成金

「普及・啓発・提言事業/生物多様性条約とラムサール条約によって保全する湿地の生物多様性」
2011年4月～2011年9月 620,000円

(2) 経団連自然保護基金助成金

ヘラシギ調査 2011年4月～2012年3月 2,800,000円

(3) セブン・イレブン助成金

湿地のグリーンウェイブ 2011年3月～2012年2月 1,580,600円
湿地のグリーンウェイブ 2012年3月～2013年2月 2,000,000円

(4) JA全農助成金

湿地のグリーンウェイブ 2011年11月 250,000円

(5) パルシステム助成金

湿地のグリーンウェイブ 2011年12月 250,000円

(6) 環境省からの受託事業

韓国サンジュでのワークショップのサポート 375,000円
世界湿地の日ポスター・パンフ製作 580,000円
水田優良事例報告集製作 991,000円

(2012年4月入金)

(7) バードライフ・インターナショナル アジア・ディビジョンからの受託事業

フライウェイ・パートナーシップの国内サイトへのアンケート

(作業中、200,000円入金予定)

ラムサール・ネットワーク日本水田部会活動報告（2011年度の活動）

水田部会長 呉地正行

○水田部会開催

・第7回水田部会（CEPA 部会と合同）；2011.10.03
16:00-18:00

[主な議題]；

1)第6回田んぼの生き物調査報告（2011.07 韓国ホンソン（洪城））/ 2) STRP がラムサール COP11 で提出予定の水田殺虫剤決議の進捗状況とラムネット J 水田部会としての関わり方/ 3)；水田決議国際ワークショップ（2011.08.26-27；韓国サンジュ市）報告/ ほか

・水田部会（第8回）；2011.12.02 17:30-19:30

[主な議題]

1) ラムサールアジア地域会合（2011.11,ジャカルタ）報告/ 2)アジア湿地シンポジウム（2011.10、中国 Wuxi）報告（水田関連中心）/ 3)生物多様性地域戦略と水田決議を活かした水田の生物多様性政策/ 4) 愛知ターゲットの具体化；「にじゅうまるプロジェクト」参加の「田んぼの生物多様性向上 10 年計画」のロードマップ作り。

○水田決議円卓会議準備会開催；ラムネット J・水田部会、環境省、農水省、国交省

第14回 7/4（月）、第15回 8/19（金）、第16回 10/4（火）、第17回 12/5（月）、第18回 2012/1/18（水）、第19回 2012/2/13（月）。水田の生物多様性を軸に NGO と関連省庁（特に農水省）との情報共有と共通理解、課題整理などの場として有効に機能。資料・議事録は以下を参照。

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=b0626fce-b958-4da9-bb47-8089d2dd10a0>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=0aa1e453-9e86-4813-9e10-0a409699ee93>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=f764f925-118f-4bb5-b6d2-3fd827b80185>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=96d9d85e-59e0-4242-87d0-8772c1f75108>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=1c181975-dde4-42d0-9e7e-efe767517e3d>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=85e4ec8c-6f3f-48b1-b99b-63208ee9e4e0>

<https://box.yahoo.co.jp/guest/viewer?sid=box-1-le6cz6hluchcgz5fflq6wqoa24-1001&uniqid=c1022c6f-2bf2-41db-a940-5558283a9115>

○第6回日韓田んぼの生き物調査交流会：参加：岩渕、呉地、柏木

2011/7/21-23（韓国・忠清南道・ホンソン郡）

[田んぼ生態プログラム、体験広場]；各団体別(展示-1年間の活動の写真や資料展示/ 体験活動/ 料理-餅作り/わら細工/米の伝統菓子/

[主題別討論会]；[選択1 農業技術]/[選択2 調査技術]/[選択3 調査技術]

[生き物調査と結果報告]；①水生生物 / ②トンボ類調査 / ③クモ定量調査 / ④畦の草花調査 / ⑤田面ライセンサー調査 / ⑥有機ほ場調査

[稲作調査、研究事例]（報告8題）/[評価と展望]/[農村の未来]（報告6題）

○水田保全のための国際シンポジウム（「水田と殺虫剤」決議案のためのワークショップ）：参加：呉地、岩渕、柏木

2011/8/25-27（韓国・慶尚北道・サンジュ市）

・STRP から提案された、「水田と殺虫剤」のドラフティング目的で開催された。決議内容もそのプロセスも問題が多く、特に水田の生物多様に注目した決議 X.31 と相容れない要素が多く、これらに対して環境省を支援しながらその問題の指摘を主に行ない、参加者の理解も求めた。

2011 年度ヘラシギ保全活動

報告：柏木 実

概況

ユーラシア大陸東部の沿岸域のみを生息地とし、IUCN レッドリストの CR (Critically Endangered) とされるヘラシギの、2000 年から行なわれてきた調査・保全活動に柏木が中心的に関わってきた。経団連自然保護基金 (KNCF) の支援を JAWAN として受け、3 年ごとのサイクルで 2002 年度と 2006 年度からの 2 つのプロジェクト(繁殖地における調査、書く越冬地の現状調査)を行なった。

2011 年度から、KNCF の基金を受け、これまでの調査で明らかになった重要生息地の一つであるミャンマーに焦点を当てて、調査を行なっている。重要生息地モッタマー湾 (英語読みはマルタバン湾：ヤンゴンの東、シッタウン川河口部の湾) の河口近く右岸側の干潟である。現地カウンターパートの BANCA (生物多様性・自然保護協会) と協力して、①ヘラシギおよびシギ・チドリ類を中心とした鳥類調査、②ベントスの調査、そして、③地域住民の啓発活動を柱とする活動を行ってきた。

特に BANCA による③の活動は、ラムネット J の「地域に根ざした保護・保全活動」と重なる。鳥類の保護のためには周囲の環境・特にえさとなる底生生物の把握と、住民と共同で行う保全活動が欠かせず、具体的な活動の一つが始まった。

下に挙げた具体的な調査・保全活動の結果、モッタマー湾の底生生物、鳥類の種構成と個体数の特徴、そしてまたこの地域の地理学的特徴との関係が見え、今後の調査の方向性についても明らかになってきた。

同時に 2011 年の選挙以来、ミャンマーは大きく政治状況が変化した。自然保護に関しても政府の中に積極的な動きが現れている。この状況の中、BANCA は環境保全森林省と協力して 2012 年の世界湿地の日の記念行事として、関連省庁と NGO を対象として、モッタマー湾を初めとするミャンマーの湿地のラムサール条約湿地登録のためのシンポジウムを実施した。これはミャンマーに湿地の保護に向けた動きを確実にしようとする動きであり、政府と NGO の協力による湿地の保護という動きに、ミャンマーだけでなくアジア各地における今後の湿地保護の新しい動きの兆しでもあるといえる。

活動

調査活動：

5 月 (5/15-22)：調査：底生生物 (BANCA3 名)、鳥類 (ラムネット J 柏木)

2011 年度調査の計画に関する相談、地域住民との話し合い

11 月 (11/4-13)：調査：底生生物 (BANCA4 名)、鳥類 (ラムネット J 富田・柏木)

1 月 (1/19-2/3)：調査：底生生物 (BANCA4 名日本 1 名 (東北大・鈴木孝男氏)、鳥類 (BANCA8 名、ラムネット富田・柏木、バングラデシュ、中国、UK、ドイツ 9 名)、

2月(2/3-4) 中津干潟シギ・チドリ類ズグロカモメ調査参加(主催:中津干潟で遊ぶ会、
協力:南港ウェットランドグループ、ふくおか湿地研究会)

保全のための会議・ワークショップ

ラムサール条約 COP11 アジア地域会合 (11/14-18): インドネシア・ジャカルタ

東アジア・オーストラリア地域水鳥フライウェイパートナーシップ会議 (2012/3/19-23 :
インドネシア・パレンバン

世界湿地の日記念行事 (2012/2/2): ミャンマー・ネイピードー: ミャンマー政府・BANCA
同上パートナーシップ・ヘラシギ・タスクフォース会議

(2012/1/30-31): ミャンマー・ヤンゴン

(2012/3/23-24): インドネシア・パレンバン

ワークショップ: 鳥類(シギ・チドリ類) (2012/1/21-22): ミャンマーモウルミェイン

主催: BTO (英国鳥類学トラスト) 調査手法2日

2012年以降の課題

2011年度より始まったラムサール・ネットワーク日本とBANCAの共同プロジェクトはこれまでほとんど行われてこなかった沿岸域の底生生物調査により、モッタマー湾の干潟の底生生物相が一部明らかになった。これは限られた季節の限られた地域における調査であり、この地域の生物多様性を把握し、保全計画・管理計画を作るためには一年を通じた調査を継続的に行っていくことが欠かせない

このため、2012年度は底生生物調査と鳥類調査を隔月に行い、周年のデータを集積するとともに、2011年度に行った調査手法を検討し、種構成・個体数に関し、その年変化を把握することのできるよう調査を組み替えて、底生生物・鳥類の全体像を明らかにするよう準備している。

湿地のグリーンウェイブ 2011 報告と 2012 の活動計画

:地域の活動を結ぶコミュニケーションツールとして機能し始めた湿地のグリーンウェイブ活動！

CEPA 部会 安藤よしの

1. これまでの経過

①干潟・湿地を守る日:諫早湾の締め切りで干潟が消滅した翌年の 1998 年からほぼ 10 年間、諫早干潟にとどまらず、全国的な湿地保全のシンボリック活動として継続実施されてきました。

②生物多様性条約 COP10 での「田んぼのグリーンウェイブ」

生物多様性条約の国際的普及啓発イベント「グリーンウェイブ」に参加-2010 年の CBD COP10 に向けた、水田の生物多様性をテーマにしたキャンペーン「田んぼのグリーンウェイブ」では全国約 30 団体が、生き物調査や田植えなどを実施しました。ラムネット J が日本政府に働きかけ、名古屋での CBD COP10 での水田決議の採択に至ったのですが、この一連の活動を推進するということを主な目的としていました。COP10 会議中は、水田フォーラムや展示で報告し、田んぼの生物多様性に対する市民の理解を深めることに貢献しました。



千葉県船橋市の小学校

③「湿地のグリーンウェイブ 2011」:水田の生物多様性だけではなく、対象を湿地全体にひろげて「地域の子どもたちや市民が湿地の素晴らしさや大切さに気づき、湿地を守るための行動に参加してもらえるようなイベントを実施して、全国に湿地保全のウェイブを広げましょう」という呼びかけのもとで実施しました。

2. ラムネット J が湿地のグリーンウェイブで目指していること

国連は 2011 年から 2020 年までの 10 年間で「国連生物多様性の 10 年」とすることを決めました。この「国連生物多様性の 10 年」が採択されるに至るプロセスでは、2010 年に名古屋で開催された COP10 に CBD 市民ネット構成メンバーとして参加したラムサール・ネットワーク日本が大きな役割を果たしました。特にこの 10 年間、私たち湿地 NGO も生物多様性保全のために積極的な行動をとることが求められています。

湿地のグリーンウェイブは、IUCN 日本委員会による、愛知ターゲットを実現させるための参加型プロジェクト「にじゅうまるプロジェクト」に参加しています。20 項目の愛知ターゲットを守っていくための行動型湿地保全 CEPA 活動として、各地で実施されている活動を結び、流域全体にひろげ、そして最終的には地球規模で湿地を守り、生物多様性の減少を止め、持続可能な暮らしの実現に貢献します。

3. 湿地のグリーンウェイブ 2011 報告

・全国 42 の団体が 37 の企画で参加し、日本各地で個性豊かな活動が実施されています。渡り鳥のカウント、子どもを中心とした田植えや農作物の収穫作業、干潟の生き物の観察会、湿地の写真展、コンサート、川遊び、海の幸・里の幸・田んぼの幸の試食会、シンポジウムなどです。ラムネットJ が開催した企画としては「東日本大震災現地 NGO による緊急報告会」(4 月 30 日・地球環境パートナーシッププラザ)と「湿地保全と私たちの社会」(6 月 28 日・沖縄市農民研修センター)があります。冊子「湿地の生物多様性を守る」では参加団体名と活動の一部を紹介しています。これらの活動は環境省他による「グリーンウェイブ 2011」に登録参加し、報告を掲載しました。実施された活動の一部は報告書に掲載しました。ラムネットJ 湿地のグリーンウェイブのホームページ <http://www.ramnet-j.org/gw/index.html> でも報告していますのでご参照ください。



多摩川河口干潟

・湿地のグリーンウェイブ開催地支援

東日本大震災被災地 NGO 緊急報告会(2011 年 4 月 30 日)後の湿地復興活動支援のための視察ツアーを実施、これからの支援の在り方を現地で話し合いました。

2 月 5 日～7 日 参加者:ラムサール・ネットワーク日本計 8 名
視察地:福島県相馬市・宮城県塩釜市寒風沢島・宮城県大崎市



相馬市松川浦

・湿地のグリーンウェイブ報告会

2 月 18 日 於:栃木文化会館

「世界湿地の日記念行事」として渡良瀬の NGO との共催で開催
全体報告・各地からの報告・パネルディスカッションを通じて、渡良瀬
周辺の人々に全国の湿地の様子、湿地保全の課題、全国的な活動
である湿地のグリーンウェイブの意義等を伝え、参加を呼び掛けました。



パネルディスカッション

・冊子「湿地の生物多様性を守る」作成と配布

湿地のグリーンウェイブ開催時の補助教材として利用できるように湿地の価値や機能・保全状況・各地での活動の歴史などをやさしく解説した冊子を作成しました。また、継続して使えるような工夫をしていますので毎年活用して下さい。セブン-イレブンみどりの基金・JA 全農・パルシステムの協力で 10,000 冊作成し、全国の環境団体、自治体・条約湿地センター等へ配布しました。必要な方はラムネットJ 事務局までお知らせください。



冊子「湿地の生物多様性を守る」

4. これからの課題

このように全国各地でさまざまな取り組みが実施されてきた中で、いくつかの問題点も出てきました。これまでの反省点を踏まえ、2012 年以降のグリーンウェイブを最終目標に近づけるために議論を深め、これからの行動に活かしていくことが大切です。

・まずは地域、そして流域へ

今年は各地域のスポット的な開催がほとんどでした。しかし渡良瀬、吉野川、三番瀬などの周辺では、さまざまな活動を湿地というキーワードでくくり、連携してうごく兆しがみられました。ラムサール条約や生物多様性条約の取り決め等を活用した冊子や、地域で実施してきた活動をもとに、湿地のグリーンウェイブをまずは近隣地域にひろげていくこととします。

実施団体へのアンケートや報告会で出された主な問題点：

- * 東日本大震災被災地への支援の在り方
- * 湿地の放射能汚染問題
- * 地域の団体が必要としている課題の取り上げ方
- * 担い手と資金の問題
- * 大きな波(ウェイブ)にするための戦略/行動計画づくり
- * 他のセクターとの連携:ビジネス、地方自治体、政府、条約など
- * 地域のデータ構築手法
- * 各地の団体に参考となるような報告のありかた



吉野川河口干潟

5. 湿地のグリーンウェイブ 2012 計画

セブンイレブンみどりの基金の助成(2011~2012 年)を受け、JA 全農・GEOC などの協力の下で実施します。現在自治体を含む 50 以上の団体が、各地で湿地のグリーンウェイブの活動を実施・展開中です。HP 参照のうえ、報告会などを通して地域 NGO のコミュニケーションツールとしても機能し始めているこの活動にご参加ください。その他の今年の活動として以下を計画しています。

- ・COP での展示報告:湿地 NGO のさらなる CBD への参加を呼びかけ
ポスター・配布資料・クリアファイルの作成
- ・国内での展示 GEOC 他
- ・セミナー/ワークショップ等の開催 於:GEOC|
 - 5 月 19 日 セミナー「東日本大震災から一年・水田の取組み」
 - 8 月 4 日 ワークショップ「湿地の CEPA 活動」予定
- ・報告会 10 月 20 日 於:吉野川 詳細未定
- ・世界湿地の日の取組(検討中)



2011年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

2011年 4月1日 から 2012年 3月31日まで

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入	852,000	
2 事業収入	955,000	
3 補助金等収入	5,500,600	
4 寄付金収入	1,621,100	
5 その他収入 雑収入 利息収入	330,457 516	
6 その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		9,259,673
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 調査研究事業費	2,263,749	
(2) 保全・再生事業費	875,816	
(3) 普及・啓発事業費	3,396,751	
(4) 国際協力事業費	1,182,613	
(5) ネットワーク推進事業費	163,800	
事業費計		7,882,729
2 管理費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
什器備品費	10,309	
旅費交通費	119,210	
事務所費	410,000	
業務委託費	360,000	
消耗品費	990	
通信運搬費	212,344	
印刷費	20,520	
会議費	38,900	
支払手数料	23,819	
租税公課	700	
諸会費	57,415	
雑費	30,961	
管理費費計		1,285,168
経常支出合計		9,167,897
経常収支差額		91,776
当期収支差額		91,776
前期繰越収支差額		1,222,303
次期繰越収支差額		1,314,079

【参考】

2011予算	予算対比	2012予算
1,500,000	▲648,000	900,000
500,000	+455,000	500,000
1,650,000	+3,850,600	2,500,000
650,000	+971,100	600,000
200,000	+130,457 +516 +0	200,000
4,500,000	+4,759,673	4,700,000
500,000	+1,763,749	500,000
500,000	+375,816	500,000
1,500,000	+1,896,751	1,500,000
500,000	+682,613	1,000,000
500,000	▲336,200	250,000
3,500,000	4,382,729	3,750,000
0	+0	0
0	+0	0
50,000	▲39,691	30,000
200,000	▲80,790	150,000
500,000	▲90,000	400,000
0	+360,000	0
0	+990	20,000
20,000	+192,344	100,000
80,000	▲59,480	20,000
20,000	+18,900	30,000
50,000	▲26,181	30,000
30,000	▲29,300	30,000
10,000	+47,415	60,000
10,000	+20,961	30,000
970,000	315,168	900,000
4,470,000	4,697,897	4,650,000
30,000	61,776	50,000
30,000	61,776	50,000
1,405,076		1,222,303
1,435,076	61,776	1,272,303

事業費の内訳	小計	支出金額	見合いの収入
(1) 調査研究事業費	小計	2,263,749	
経団連助成 ヘラシギ調査他		2,263,749	2,800,000
(2) 保全・再生事業費	小計	875,816	
震災助成金7件		530,000	537,000
韓国サンジュでのワークショップ		303,912	375,000
その他		41,904	
(3) 普及・啓発事業費	小計	3,396,751	
沖縄シンボ関係		617,900	620,000
湿地のグリーンウェイブ		2,102,211	1,580,600
			250,000
			250,000
世界湿地の日ポスター、パンフ		530,000	580,000
その他		146,640	
(4) 国際協力事業費	小計	1,182,613	
第7回日韓フォーラム		1,112,613	150,000
その他		70,000	
(5) ネットワーク推進事業費	小計	163,800	
ラムネットニュースレター関係費		163,800	

経団連自然保護基金助成金

震災義援金寄付
環境省請負事業

プロナトゥーラファンド助成金
セブンイレブン助成金
全農助成金
パルシステム助成金
環境省請負事業

日韓基金雑収入

財産目録（特定非営利活動に係る事業）

2012年 3月 31日現在

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産 現金	30,253	
内訳 菅波手元現金 30,253円		
銀行預金（三菱東京UFJ・千駄木）	229,448	
銀行預金（みずほ・道坂）	109,542	
銀行預金（りそな・青木出納口座）	142,982	
郵便振替	1,109,115	
預かり金（日韓基金）	72,109	
銀行預金（常陽・小山）	79	
未収金	1,027,140	
内訳		
環境省請負事業 サンジワークショップ 375,000円		
環境省請負事業 世界湿地の日 580,000円		
PayPal 会費・寄付カード決済分 72,140円		
資産合計		2,720,668
II 負債の部		
負債 未払い金（経団連助成金関連）	1,406,589	
未払い金		
内訳 経団連自然保護基金助成 関係者立替 263,749円		
環境省請負 世界湿地の日 関係者立替 530,000円		
環境省請負 サンジワークショップ 関係者立替 129,420円		
セブンイレブン助成金 返却予定分 64,470円		
安藤よしの 交通費、郵送料立替分 8,950円		
安藤よしの 翻訳費、COP10関係未払い金 185,000円		
矢嶋悟 COP10準備関係未払い金 225,000円		
負債合計		1,406,589
III 正味財産の部		
正味財産		1,314,079
正味財産及び負債の合計		2,720,668

2011年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

科 目		金 額（単位：円）		
I 資産の部				
1	流動資産	現金	30,253	
		内訳 普波手元現金 30,253円		
		銀行預金（三菱東京UFJ・千駄木）	229,448	
		銀行預金（みずほ・道坂）	109,542	
		銀行預金（りそな・青木出納口座）	142,982	
		郵便振替	1,109,115	
		預かり金（日韓基金）	72,109	
		銀行預金（常陽・小山）	79	
		未収金	1,027,140	
		内訳		
		環境省請負事業 サンチュワークショップ 375,000円		
		環境省請負事業 世界湿地の日 580,000円		
		PayPal 会費・寄付カード決済分 72,140円		
	流動資産合計			2,720,668
2	固定資産	なし	0	
	固定資産合計			0
	資産合計			2,720,668
II 負債の部				
1	流動負債	未払い金	1,406,589	
		内訳 経団連自然保護基金助成 関係者立替 263,749円		
		環境省請負 世界湿地の日 関係者立替 530,000円		
		環境省請負 サンチュワークショップ 関係者立替 129,420円		
		セゾングループ助成金 返却予定分 64,470円		
		安藤よしの 交通費、郵送料立替分 8,950円		
		安藤よしの 翻訳費、COP10関係未払い金 185,000円		
		矢嶋悟 COP10準備関係未払い金 225,000円		
	流動負債合計			1,406,589
2	固定負債	なし	0	
	固定負債合計			0
	負債合計			1,406,589
III 正味財産の部				
		前期正味財産	1,222,303	
		当期正味財産増減額	91,776	
	正味財産合計			1,314,079
正味財産及び負債の合計				2,720,668

2011年度 その他の事業 収支計算書
2011年 4月1日 から 2012年 3月31日まで

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

科 目		金 額 (単位：円)	
I 収入の部			
事業収入	0		
	当期収入合計		0
II 支出の部			
1 事業費			
事業費	0		
	事業費合計		0
2 管理費			
管理費合計	0		
	管理費合計		0
	当期支出合計		0
	当期収支差額		0

2011年度 その他の事業 財産目録

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

科 目		金 額 (単位：円)	
I 資産の部			
資産 なし	0		
	資産合計		0
II 負債の部			
負債 なし	0		
	負債合計		0
III 正味財産の部			
正味財産			0
	正味財産及び負債の合計		0

2011年度 その他の事業 貸借対照表

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

科 目		金 額 (単位：円)	
I 資産の部			
資産 なし	0		
	資産合計		0
II 負債の部			
負債 なし	0		
	負債合計		0
III 正味財産の部			
当期正味財産増減額	0		
	正味財産合計		0
	正味財産及び負債の合計		0

2012年 6月 11日

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

代表理事 柏木 實 様
代表理事 呉地 正行 様
代表理事 花輪 伸一 様
代表理事 堀 良一 様

会計監査報告書

当法人の2011年度（2011年4月1日から2012年3月31日）の会計について、財産目録、貸借対照表、収支計算書等を精査した結果、適正なものであることを認めます。

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

監事

大村



2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）事業計画

特定非営利活動法人ラムサール・ネットワーク日本

1 事業実施の方針

2012年度事業の方針は、以下の通り。

- (1) 湿地および湿地の生物多様性の保全、再生、持続利用に関する諸活動を行う。
- (2) ラムサール条約湿地の増加と保全計画作成に係わる活動を行う。
- (3) ラムサール条約COP11およびIUCN世界自然保護会議に参加し、サイドイベント、ブース展示等を通して、本会の主張を提示する。
- (4) 東日本大震災による湿地の被害に関して情報収集し政策提言を行う。
- (5) 事務局体制など事業実施の基盤の整備を行う。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

1) 調査研究事業

- ・ 東日本の湿地（水田、干潟など）と湿地の産業（農業、漁業、観光業など）および地域コミュニティの現状、被害状況に関して情報を収集、分析し、地域の湿地の再生方法を検討し、その実現に向けて行動する。
- ・ 各地の湿地、特にラムサール湿地に登録すべき湿地に関し情報の収集、分析を行う。
- ・ 湿地および湿地の生物多様性の保全、再生、持続利用に関する法制度の検討を行う。

2) 保全再生事業

- ・ 東日本の湿地の再生に関して、地域の湿地と産業およびコミュニティの連携の観点から行動計画を作成し、政策提言を行う。
- ・ 国内のラムサール条約湿地の増加を目指して提言、要請行動を行う。
- ・ 湿地および湿地の生物多様性に係わる法制度について政策提言を行う。

3) 普及啓発事業

- ・ 東日本の湿地の現状に関する報告会、シンポジウム等を開催し、被害状況や今後の対策等について意見交換し広報する。
- ・ 各地の湿地で行われるイベントの連携を図り「湿地のグリーンウェイブ」として全国展開する。
- ・ 湿地の生物多様性の保全と持続的利用に関する広報資料を作成し、湿地に関する普及教育に活用する。
- ・ 本会の活動に関するパンフレットを作成、配布し社会的認知度を高める。

4) 国際協力事業

- ・ ラムサール条約COP11（2012年7月）に参加し、世界湿地ネットワーク等と連携しながら、COP11決議の国内での履行を進める。
- ・ IUCN世界自然保護会議（2012年9月）に参加し、湿地関係NGOとともにワークショップを開催する。
- ・ 韓国の湿地NGOと河川や沿岸湿地、水田等に関するシンポジウムを共催し交流を深める。

5) ネットワーク推進事業

- ・ 各地の湿地保護グループとの交流、情報交換のためのニュースレターを発行し、メーリングリストやホームページを運営する。

6) その他

- ・ 原発の安全性と湿地への影響に関する情報収集、政策提言を行う。

(2) その他の事業

特になし

以上